

申立書

年 月 日

(あて先)

大崎市長 _____

所有者 住所 _____

氏名 _____ 印

電話 _____ () _____

このたび、私が建築し、又は取得しました下記の家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1 家屋（建物）の表示

所在地 _____

家屋番号 _____

2 家屋の住居表示

3 入居予定年月日 年 月 日

4 現在居住している家屋の処分方法（疎明資料が必要）

- ア 売却する
- イ 賃貸する
- ウ 借家等の契約を解約する
- エ 親族が住む
- オ その他 (_____)

5 入居が登記の後になる理由

- ア 抵当権設定を急ぐため
- イ 病気等のため
- ウ 前住人が未転出のため
- エ その他 (_____)

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。